

2018年度の安全衛生向上委員会、活動方針が決定いたしました。

●スローガン

安全は安心の第一歩

日本ステージ安全衛生向上委員会

安全作業、安全行動を通じて事故を撲滅し、日本ステージに関わる皆様に安心を提供する企業にしていきたいという思いから、このスローガンに決定しました。

●事故撲滅活動の取組み

1. 社員と協力業者（アルバイトを含む）人身事故の撲滅
2. 物損事故撲滅
3. 周知の徹底

啓蒙活動としては、引き続きこの SAFETY NEWS を通じて社内及び社外に安全への取組みを知っていただけるようにします。クリーンデイを続けていく事で、整理・整頓・清潔(3S)が安全の基本で有る事を社内に浸透させたいと思います。また、講習会を行い、社内外の安全意識向上に貢献してまいります。

社員の皆様、取り組みへのご協力お願いいたします。

AED・初期消火講習会

4月13日東大阪事業所に AED・初期消火講習会を行いました。
受講した新入社員 2 名に感想を聞いてみましたのでご覧ください。



今回も東大阪市西消防署の方々に協力して頂きました。AED 講習では、まず DVD で基本を学び、その後人形を使って心肺蘇生と AED の使い方を教わりました。初期消火訓練では訓練用の水が入った消火器を使用し訓練を行いました。通常の消火器は粉末が入っています。



吉川 菜佑さん

以前車の教習所で AED 講習会を受け、それから約半年ぶりの AED 講習でした。忘れていた事も多く、映像や実践をしてみよう際に目で見て再確認しながら実際に自分達もやってみるという形は、しっかりと身につける事が出来たと思います。幸いにも今まで生きてきて、目の前で胸骨圧迫や人工呼吸を必要とする人に遭遇した事がないのですが、もし今後遭遇してしまった時には自らで考え率先して動ける人でありたいと思いました。そうした場面が、ひょっとすると現場で起きるかもしれない。もしそうなった時も、1分1秒でも無駄にする事無く救助にあたるよう、今回の講習を忘れることなく過ごしたいと思います。

黄色のピンを抜きレバーを握れば粉末が噴出するという仕組みですが、一度レバーを握ると噴出を止めることができないため、火のそばに近寄ってからピンを抜くことがポイントだそうです。また、消火器はあくまで初期段階の火災にのみ有効なので、火が大きい場合はすぐに避難するように、と教わりました。



先日参加しました AED・初期消火活動講習会では、心肺停止後の初期対応の大切さを学びました。心臓が停止してから数分で蘇生の可能性が大幅に下がってしまうと聞いて、もし自分がそのような場面に遭遇した場合、迷わず行動しなければならないと感じました。今回の講習を受けたことで、より確実な胸骨圧迫や人工呼吸を行えると思います。とてもためになる講習でした。ありがとうございました。



赤松 和哉さん

AED は講習会を繰り返し受講することで身につきます。緊急事態に遭遇した時、咄嗟の判断とそれを行動に移せるのが大切です。まだ受講されたことのない方は、是非次回の講習会にご参加ください。



～安全への取り組み～ #ボルトメンテナンス

照明やスピーカーなど頭上に吊られるアルミトラスを連結するボルトのメンテナンスについて紹介します。複数の現場から倉庫へ返却されたボルトは、「錆びていないか?」「ナットとの締め付けはできるか?」など、目視点検を 1 日に 800 本おこないます。特に野外現場で使用したボルトは、泥や砂の汚れを丁寧に落とし、仕上げに防錆潤滑油を塗っています。メンテナンスされたボルトは 1 箱に 400 本ずつ収納され次の現場へ出庫されています。

イベントを安全に開催するため、大阪資材管理課は安全への取り組みを強化しています。